

キララだより

No 6

学校目標「ゆたかさ たしかさ たくましさ」

**本年度も多くのご支援 ありがとうございました！
～第55回卒業証書授与式にて21名が巣立っていきました～**

豊かな発想で生徒会の先頭に立ち、下級生の手本となって1歩先を歩いてくれた卒業生の皆さんでした。今年度の竜東グループワークによって生徒同士の話し合いの輪が広がったことは間違いありません。竜東中学校の3年間積み重ねてきた思い出を胸に、それぞれの夢に向かって大きく羽ばたいていってください。

令和6年度 飯田市立竜東中学校 卒業証書授与式 学校長式辞

さららの丘の梅のつぼみもふっくらと膨みはじめ、いよいよ春の訪れを感じる季節となりました。本日この佳き日に、学校運営協議会会長 原 雅彦 様をはじめ、多くのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和六年度 第五十五回の卒業証書授与式が挙行できますことを、心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

九年間の義務教育を終え、確かな成長の姿を見せてくれた二十一名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年前、入学した皆さんは、あどけない表情で、まだ幼さも残る様子でしたが、この学び舎で多くの友達と共に過ごし、一步一步着実に成長されました。君たちの学級目標にも、その成長の軌跡を感じます。一年生「START」（スタート）を掲げ、協力できるクラスをめざそうと頭文字一文字一文字にも意味を考え思いを込めました。二年生では「STEP」として、3年での「JUMP・飛躍」につながる一年間を皆で目指しました。そして3年では「Just Keep Going」、進路実現、卒業に向けて、ひたすらに進み続ける一年間を目指してきました。特に、学校のリーダーとなった三年生での活躍には、目を見張るものがありました。「創意発言」新たな意見でさらなる高みを～をスローガンに全校一人一人の意見を大事にした企画や取り組みは、三年生の誠実さやひたむきさが伺える素敵な活動でした。

今、世の中はこれまで以上の速さで様々な情報が大量に流れています。その不確かさも相まって、将来を予測することが難しい時代となっています。そんな未来にあっても希望ある明るい社会に、君たちならばできると期待しています。それは、一人一人の「違いを大切にできる心根」が君たちにはあるからです。自分の考えを持ち、友と共有し、互いの意見を大事にしながら新たな考えや発想をもつことを、授業でも生徒会活動でも取り組んできました。人との違いはあなたの個性です。さまざまな違いを持つ人々が共存し、互いに尊重し合う多様性社会を築いてくれると願って止みません。

七月に行ったLサポートとの福祉交流では、コロナで直接の対面交流はできませんでしたが、裏庭を耕し竹で仕切りをつけたオリジナル花壇を作り、花を通じた心の交流に取り組みました。君たちのこういっ

た発想や姿には、コロナ禍を乗り越えてきた、たくまし
しさや心の豊かさを感じます。今年の花壇コンク
ール大賞受賞の陰に、この活動も大きく貢献してい
ると思います。ぜひ、卒業してもその「花を愛する心
根」を忘れず、さらに君たちの周りに広げてくれ
たらうれしく思います。それが、竜東中花壇づくり活
動の目的でもあります。高く気高い理想を持ち続け
ましょう。

いよいよ四月からは、自分で決めた進路を歩ん
でいくこととなります。自分で決断したことには責任
も伴いますが、それが自立であり社会への一歩でも
あります。不安や悩みが大きいときは、家族や友だ
ち、私たちを含めた多くの人に頼ってください。卒
業後も近くで遠くで、互いに助け合うことで、これ
からも共に成長し続けていきましょう。

保護者の皆様、本日は、お子さまのご卒業、誠に
おめでとうございます。立派に成長した姿を前に感慨
もひとしおのことと存じます。九年間の義務教育にお
いて、様々な面でご理解とご協力を賜りましたこと
に心より感謝申し上げます。今後は、人生の先輩、一
番の理解者として一歩後ろから、自立していく我が
子の姿を見守ってあげてください。

結びに、『行く春や鳥(とり)啼(な)き魚の目は泪(なみだ)』という松尾芭蕉の句があります。旅立つ
前、別れの場に集まっていた全ての人も鳥も魚も別れの涙に暮れている様子を詠った一句です。私たち竜
東中職員も君たちとの別れは名残惜しく寂しい想いではありますが、皆さんの輝ける未来にエールを贈り
続けたいと思います。卒業生二十一名一人一人に幸多からんことを心からお祈りし、式辞とさせていただきます。
(令和7年3月19日 飯田市立竜東中学校長 持田 貴康)



送 辞 (在校生代表 向坂 和)

寒さの中にも、柔らかな春の日差しを感じる季節になりました。

竜東中学校を卒業される二十一名の皆様、ご卒業おめでとうございます。三年間の中学校生活
を終え、ここに卒業の日を迎えられましたことを、在校生一同心よりお祝い申し上げます。

二年前の春、入学してきた私達を柔らかな笑顔で迎えてくださり、たくさんのことを教えてく
ださった先輩方は、新しく始まる中学校生活への不安を和らげてくださいました

今年度の生徒会は「創意発言～新たな意見でさらなる高みを～」をスローガンとして全校の意見を反映し、新しい活
動を提案したり、これまでの活動を発展させたりと、さらなる高みを目指して、生徒会活動を引っ張ってくださりあり
がとうございました。全校に寄り添った活動をしていただいたおかげで、積極的に意見を言えるようになり、意見を言
う事の大切さを改めて実感するようになりました。

生徒会活動では、話し合う場をたくさん設け、一人ひとりの意見を取り入れて進めてくださいました。リサイクル活
動、ありがとうの花、ありがとうの星、健康生活週間、フラワーデー、全校合唱などそれぞれの委員会の手の込んだた
くさんの活動により、竜東中学校がよりよい学校になったと思います。

先輩たちが残してくださったものを受け継ぎ、より良い生徒会活動ができるように頑張りたいと思います。

雲母ヶ丘祭では、伝統を受け継ぎながらも、竜東グループワークなどの新しい試みを取り入れ、楽しく、充実した時
間になりました。まさに、先輩方の新たな高みを目指す瞬間だったと思います。先輩方が作り上げてくださった委員会
の良いところを活かし、新たなことに挑戦し、盛り上がる文化祭を実行できるようにしたいと思います。

壮行会では、応援団を引っ張り、団結させ、大きな声や身振りで双方の部活動の応援を全力でしている姿に感動しま
した。私達もその姿を見習って来年度の壮行会で実行したいと思います。

どんなことにも全力でとりくみ、思いやりの心のある先輩方は私達の憧れです。これまで先輩方が築き上げてきた
伝統は私達が引き継ぎ、よりよい竜東中学校を目指していきたいと思
います。

この三年間でつちかった力を支えとし、これから一人ひとり新しい
道を歩んでいくことと思います。 困難にぶつかったときには、竜東
中学校の生活を振り返って、共に過ごした仲間との楽しかった日々を
思い出してみてください。仲間 の笑顔を思い出し、嫌なことも頑張ろ
うと思えると思います。

最後に、今まで私達に様々な場で指導をしていただき、最後まで私達の
ことを支えてくれた先輩方に感謝の意を表し、卒業生のご健康と益々
のご活躍をお祈りして、送辞とさせていただきます。



答 辞 (卒業生代表 平沢 真宗)

開花を待つ桜の息吹を感じられ、この竜東の地にも本格的な春が訪れる
季節となりました。この佳き日に私たち3年生21名は9年間の義務教育
を修了し、竜東中学校を卒業します。

3年前、新たな生活への期待と不安を抱えて、少し大きめの制服に袖を
通し、私たち21名は入学式を迎えました。まだコロナが影を落とし、マ
スク着用、換気、黙食が推奨される中ではありましたが、新しい仲間との
出会い、広くなった教室、初めての部活動とスタートした中学校生活は楽
しさの連続でした。私は吹奏楽部に入部し、先輩方から音楽に向き合う心
構えや、一つのことにに対して熱心に取り組むことの大切さを教えていただきました。きっと他の部活動でも同じよう
に大切な学び、貴重な経験があったことでしょう。その一つ一つが私たちを中学生として成長させてくれました。

中学校生活にも慣れてきた2年生。新たに後輩という存在ができ、いっそう「中学生としてしっかりしなくては」と
いう思いをもちながら、部活や学校行事、学習など様々な活動に取り組みました。2年生のスタートに学級担任の先生
から「2年生という立場は3年生を支え、1年生に中学校生活を教えてあげる立場なのだから、竜東中学校の中核を担
うという自覚をもとう」という話をしていただいたのを今でも覚えています。その話を聞き、私を含めクラス全員が2
年生の重みを実感しました。2学期には生徒会長選挙があり、クラス1人1人が次の竜東中学校を担う一員としての
自覚をもち始めました。そして3学期に始まった新体制での委員会。生徒会役員という立場に緊張しつつもクラス全
員で協力していこうと思ったことが印象に残っています。

今まで引っ張ってきて下さった先輩方が卒業し、いよいよ最上級生となった3年生の春。中学校生活の一大行事で
もある修学旅行に私たちは出発しました。事前学習の段階から楽しみで、小学校6年生の時には長野県内での修学旅
行だった分、余計に心躍りました。京都・奈良を巡り、全力で修学旅行を楽しみ、教科書やテレビでしか見たことがな
かった歴史的な建造物や景観に、古来から大切にされてきた日本文化のすばらしさを肌で感じる事ができました。
このメンバーで行くことができたからこそ最高の思い出です。

そんな3日間を過ごし、さらの地へ返ってきた私たちは、第51回雲母ヶ丘祭に向けての準備を始めました。私た
ちが目指した生徒会は「みんなの意見を大切にし、生活しやすい学校」でした。そのための新たな活動として「竜東グ
ループワーク」を取り入れたのですが、そのための準備は大変でした。夏休み「どう進行するのか」、「何について
話し合うのか」執行部だけでなく、他の委員会の正副委員長とも協力して考えました。そしてようやく仕上がったもの
を先生に確認していただきました。返ってきたのはたくさんのダメ出しと自分たちの計画の甘さでした。その時、先生
に言われた「ちゃんと竜東グループワークと向き合えていますか?」という言葉は今でも覚えています。その時、私自
身の甘さと活動に真剣に向き合う心の足りなさを実感しました。もっと真剣にこの活動に向き合っていこうと改めて
思うことができました。その本気の思いを胸に、もう一度、活動の根本を考え直し、全員で協力し改善したからこそ、
本番の竜東グループワークを作り上げることができました。あの時、あの言葉がなかったら雲母ヶ丘祭の竜東グ
ループワークは完成しなかったと思います。そんな苦労もありましたが、生徒会役員全員で分かち合えた達成感はまさに
「爽快」なものでした。生徒会活動は私たちの絆をより深め、人として大きく成長させてくれました。

この3年間はあっという間に過ぎました。先生方は右も左も分からない私たちに教科の学習だけではなく、人とし
ての生き方を教えて下さいました。私には中学生になっても至らない点がありましたが、そんな私にも先生方は様々
な言葉をかけて下さいました。また、時には言葉だけではなく行動でも道を示して下さいました。それぞれの道に進む
ことになるこれから先も決して忘れることはありません。本当にありがとうございました。中学校
での生活はあっという間に過ぎていきます。だからこそ今の仲間と過ごせる1日1日を大切にしてください。これか
らの竜東中学校をよろしくお願いします。

そして保護者の皆様。今まで大切に育てて下さり本当にありがとうございました。学校や部活動の送迎、受検のサポ
ート、日々の生活の全てにおいて、私たちがここまで来れたのは保護者の皆様のおかげです。まだまだたくさん心配
をかけるとは思いますが、時に厳しく時に優しく指導してください。これからどんな事があろうと私たちにとって大切
なのは他でもない家族であるということに心を留めて、未来に向かい歩んでいきます。

最後に一緒に卒業する仲間へ。3年間を振り返ると1人1人との思
い出が浮かんできます。特に3年生になった1年間は私が発案した新
しい生徒会活動のために皆さんを振り回してしまいました。それでも
新しいアイデアを出してくれたり、行き詰った私を励ましてくれたり、
最後まで支えてくれて本当にありがとうございました。皆さんと過
した3年間の全てがかげがえのないもので、歩んできた証です。

「友 僕たちが見上げる空はどこまでも続き輝いている 同じ空の下
僕たちはいつも繋がっている」
この竜東中学校で、この仲間と出会えた奇跡に感謝し、卒業できる幸せ
を強く思い、明日から始まるお互いの未来を見据え、笑顔で巣立ちまし
よう。

最後になりましたがこれからも竜東中学校が素晴らしい歴史を刻ん
でいくことを願い、答辞とさせていただきます。



保護者代表挨拶（卒業生保護者代表 平澤 佳菜江）

卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても義務教育が終わり1つ、子育ての区切りがついたかと思います。

早いもので、幼さが残る入学式から3年の月日が流れました。ブカブカの制服に身を包み、あどけなさが残る1年生の立ち姿から、当時の3年生の大人っぽさ、大きさに我が子もこう成長していくのだろうかと思ったことを思い出します。先生・友人と過ごす時間の中で1つ1つ成長していく子供を見て、私自身、親としての責任を果たしているのかと考えさせられた時期もありました。知らないところでどんどん成長していく子供たち。本当に良き先生・友人に恵まれたと思います。

これから先は「自分で考え・行動し・責任をとる」場面も増えてきます。苦しいときは中学校の3年間の思い出して乗り越えていってください。そして感謝の気持ちを忘れずに羽ばたいてください。子供たちの未来が輝いていることを願って保護者代表の挨拶とさせていただきます。

最後になりましたが、これまでお世話になりました校長先生をはじめ、諸先生方、地域の皆様には保護者一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



今年度の竜東中学校



4月、28名の新入生を迎えました



FBCで、2年ぶりの大賞受賞

絆トーク

様々な場面で
行われた
話し合いの
活動



総合的な学習の時間を軸にして学年ごとの取り組みにつながりができたふさと学習

お知らせ

休み中の登校日
3月28日(木)準備登校日
登校8:30～下校10:55
・教室移動・式練習
・入学式準備等

入学式の予定
4月4日(木)
登校12:40～下校15:40
・入学式・始業式
・写真撮影等

～年度初めの行事等～

- 4月4日(金) 第55回入学式
- 7日(月) PTA代議員会①、専門部会
- 8日(火) 交通安全・防犯教室 部活動発足会
- 9日～11日 3年生修学旅行
- 14日(月) 3年生振り替え休日
- 9日～15日 家庭訪問
- 16日(水) 全校発育測定
- 17日(木) 全国学力・学習状況調査、総合学力検査
- 28日(月) 生徒総会、部活動運営委員会
- 5月2日(金) 授業参観、PTA総会

今年度末で転任される先生方

持田 貴康 校長 … 南信教育事務所
飯田事務所へ
小木曾雄亮 先生 … 高森町立
高森中学校へ
平澤 玲子 先生 … 飯田市立
上郷小学校へ
江口 正浩 先生 … 飯田市立
竜峡中学校へ
太田 尚子 先生 … 飯田市立
高陵中学校へ
小池 和彦 先生 … 飯田市立
上村小学校へ
キマシヒル 先生 … 飯田市立
旭ヶ丘中学校他へ

❀ ありがとうございました ❀

【春休み中の生活】安全で安心な休みにしましょう！

- ◎常識をわきまえ、法規に触れる行為や他人に迷惑をかけるような行動はしない
- ・生徒だけで、友人宅への宿泊はしない。
- ・保護者が留守の家庭には遊びに行かない。
- ・犯罪等に巻き込まれないよう、SNSサイトなどの利用は十分注意する。

